

あきらめたらおしまい
- 自分の未来は自分の力で切り開こう -

開倫塾
塾長 林 明夫

1. 自己紹介

2. 本日の講演会の目的

(1) 希望校に合格するために偏差値を 5 以上アップさせる具体的な勉強方法を「理解」し、「身につけ(「定着」)」、「入学試験で成果を発揮する(「応用」)」こと。

(2) この受験勉強を通じて、自分の力で「学び方を学ぶ能力」を身につけることで「学力を向上」させ、

「人生の成功」
「正常に機能する社会の形成」 } を目指す

3. あきらめたらおしまい。自分の未来は自分の力で切り開こう

「学習の成果」 = 「本人の自覚」 × 「学習方法」 × 「学習時間」

本日の講演会は、偏差値を 5 以上アップさせるという「学習の成果」を目指します。そのために大切なのは、「本人の自覚」と「学習方法(勉強の仕方)」と「学習時間(勉強時間の長さ)」です。どれ 1 つ欠けても偏差値 5 以上アップは望めません。一つ一つゆっくりとご説明しますので、よく聞いて、自分ならどうするかと自分のこととしてよく考えてみて下さい。「あきらめたらおしまい」です。自分の未来は自分の力で切り開く。絶対にあきらめないようがんばりましょう。

(1) **学習の成果**

皆様はこの夏休み中に勉強して、その成果として何を目指しますか。その目標を決めましょう。

私は、開倫塾の全塾生の皆様に偏差値 5 以上アップを目標として持ってもらいたいと希望します。

偏差値が 5 以上アップすると、^{せんたくし}選択肢が広がり、合格できる学校がグンと増えます。同じ人生を歩むなら、選択肢の少ない人生よりは選択肢の多い人生、多様な選択肢のある人生を歩んでもらいたいと、私は皆様に希望するからです。

ただし、そのためには、自分自身で相当努力しなければなりません。偏差値を 5 以上アップさせ、合格の可能性のある学校を大幅に増やすには自己責任・自助努力でやり方を考え抜いた上で、全エネルギーを傾注しなければなりません。

(2) 本人の自覚

学習の成果を出すために第 1 に必要なのは、「自分は来春 〇〇 という学校の入学試験を受ける受験生である」という「本人の自覚」です。この自覚があるかないかで、勉強に取り組む態度がガラッと異なります。

「自分は受験生である」とか「希望校名」をノートに書き、いつも眺めて「自覚」を深めましょう。また、紙に書き、机の前に貼って「自覚」を深めましょう。

時々でよいですから、希望校に進学して何をするのか、希望校を卒業後何をするのか、その上の学校に進学するのか、社会に出て活動するのか、働くとしたらどのような仕事に就きたいのか、何のために働くのかなどなど、自分の将来のことの中でこの受験を捉え、自分の力で考えましょう。

何のために生きるのか。人は死んだ後、後の世に何が残せるのか「お金か、仕事か、作品か、教育か、生き方か」。どのような一生を自分は送りたいのか。大切な自分のことですので、真剣に考えてみましょう。

* 以上を、「自覚」を深めるために無理のない範囲で行ってほしいと希望します。自分で考えたこと・悩んだことを文章にまとめ、ノートに書いておくこともお勧めします。よい勉強になりますよ。

(3) **勉強方法** (「学び方を学ぶ能力」を身につけること)

「受験生としての自覚」をいくらもっても、勉強の仕方を誤ったのでは学力は身につけません。偏差値が上がることはありません。

一番大切なのは、学ぶべき内容を「うんなるほど」とよく「理解」することです。

(ア)「理解」もしないで、問題集をやったり、テストを受けたり、模擬試験に臨んでも駄目です。

(イ)学校や開倫塾の先生の授業を真剣によく聞くこと。学校や開倫塾では、「遅刻」や「欠席」、「早退」、「おしゃべり」、「忘れ物」、「居眠り」、「ケータイ」、「徘徊」をなぜ授業中にしてはいけないかといえ、授業での「理解」の妨げになるからです。(トイレもできるだけ家や授業前にすませて下さいね。ただ、あまりガマンをしないこと。必要な時は遠慮しないで先生に申し出て下さい。)

(ウ)わからない「ことば」があったらおっくうがらないで「国語辞典」や「英和辞典」を引き、調べた内容は教科書やノート、ポストイットにメモしておくこと。(メモしたものを何回も読み直すこと)。

(エ)次に大切なことは、一度「うんなるほど」と「理解」した内容を、「教科書(テキスト)」や「問題集」、授業中にとった「ノート」を中心にスミからスミまで正確に身につける、覚えることです。これを「^{ていちゃく}定着」と言います。「定着」のためには、やるべきことが3つあります。

① その第1は、一度「うんなるほど」と「理解」したことを「スラスラ口をついて出てくるまでにすること」「スラスラ言えるようにすること」です。

そのために効果的なのが、声を出して読む「音読練習」です。教科書(テキスト)、問題集、ノートを大きな声(場所によっては自分にだけ聞こえる小さな声)で何回も、何十回も読むことで、スミからスミまで覚えてしまいましょう。特に「は～だ」という「ことばの意味(「定義」)」は全科目とも正確に言えるようにしましょう。

「音読練習」だけで、偏差値が5以上アップする人もいます。

- 2] その第 2 は、「書いて覚える」こと、つまり「書き取り練習」です。教科書の書体(楷書^{かいしよ})で丁寧に書きましょう。

誤字脱字なく正確に、書けない限り、点数にはならない場合が数多くありますよ。

英語のスペリング(つづり字)、数学や理科の公式、社会の地図や固有名詞など、学校や開倫塾の教科書(テキスト)、「授業中のノート」に載っている文字や図などはすべて書けるようになるまで、「書く練習」を何回も何十回も繰り返して下さい。

これを「書き取り練習」と言います。

- 3] 学校や開倫塾の教科書(テキスト)に載っている計算や問題、授業中にやった計算や問題は、授業後にすべてやり直しましょう。やり直して、なぜそのような解答になるかがどうしてもわからなければ先生に質問しましょう。わからないまま放置しないことが大切です。

その後が大事です。計算や問題がなぜそのような解答になったのか「うんなるほど」とよく「理解」できたら、計算や問題を見た瞬間に「パッ、パッ、パッ」と正解が口をついて出るまで、手が自然に動いてしまうまで、繰り返し、繰り返しやり直して下さい。

これを「計算・問題練習」と言います。

「計算・問題練習」をして、なぜそのような解答になるかをよく「理解」した上でパッパッパッと条件反射で正解が出る計算や問題が多ければ多いほど、「定期テスト」や「実力テスト」、「模擬試験」、本番の「入学試験」で難しい問題に、使える時間が増えます。じっくり考えさせる難しい計算や問題に用いる時間を増やすために、一度やった計算や問題はパッパッパッと数秒で正解が出るまでにしておきましょう。

*開倫塾では、この3つの練習を「定着のための3大練習」と呼んでいます。

定着のための3大練習

①「音読練習」

- ・一度「うなるほど」と「理解」した内容が口をついて正確に言えるようになるまで、声に出して読む練習をすること

②「書き取り練習」

- ・「音読練習」をして「口をついてスラスラ言えるようになった」ことが、「楷書」で正確に書けるようになるまで書く練習をすること

③「計算・問題練習」

- ・なぜそのような解答になるのか「うなるほど」と「理解」した「計算や問題」を繰り返しやり直すことで、計算や問題を見た瞬間に条件反射でパッパッパッと正解が出るまでに練習すること

(4) 勉強時間

「睡眠時間 7 ~ 8 時間」、「生活に必要な時間 4 ~ 6 時間」以外の時間はすべて受験勉強のために用いることをお勧めします。

家で勉強できない塾生は、開倫塾の空いている机と椅子を使い、黒板と反対方向を向き、他の塾生の背中を見ながら、開倫塾の先生や事務の方が勤務している間中勉強して O.K. です。ただし、夜は 10:30 までです。おしゃべりや居眠り、ケータイはしてはいけません。ゴミはすべて家に持ち帰り、一切教室内外に残さないことも自習の絶対条件です。

* ゴミが山ほど出て困り果てているからです。

4. 「あきらめたらおしまい」 - 「あきらめない夏」を過ごしましょう

以上

質問にお答えします。

どんどん御質問下さい。